2026年11月11日

各　位

会 社 名　サワイグループホールディングス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　澤井 光郎
（コード番号：4887　東証プライム）
問合せ先　グ ル ー プ 財 務 部 長　　西原 嘉宏
（TEL：06－6105－5823）

業績予想の修正に関するお知らせ

サワイグループホールディングス株式会社（以下、「当社」）は、最近の業績動向を踏まえ2026年5月15日に公表した2027年3月期（2026年4月1日～2027年3月31日）の第2四半期（中間期）及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

記

1．2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想の修正
（2026年4月1日～2026年9月30日）

（単位：百万円）

	売上収益	（参考）コア営業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する中間利益	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する中間利益
前回発表予想（A）	101,000	14,300	13,100	12,500	8,900	77.08円
今回修正予想（B）	102,000	12,000	9,600	8,600	4,900	42.62円
増減額（B－A）	1,000	△2,300	△3,500	△3,900	△4,000	△34.46円
増減率	1.0%	△16.1%	△26.7%	△31.2%	△44.9%	△44.7%
（参考）前期中間実績（2026年3月期）	98,843	13,764	8,534	7,962	5,846	50.63円

※ 米国事業を非継続事業に分類しており、非継続事業からの損益は継続事業と区分して、売上収益、（参考）コア営業利益、営業利益、税引前利益は継続事業の金額を表示し、親会社の所有者に帰属する中間利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示しております。

※ 上記業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 2027 年 3 月期通期の連結業績予想の修正
（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

（単位:百万円）

	売上収益	（参考）コア営業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益
前回発表予想（A）	208,400	29,600	27,200	26,000	18,600	161.09 円
今回修正予想（B）	212,700	26,500	22,900	20,900	13,700	118.49 円
増減額（B－A）	4,300	△3,100	△4,300	△5,100	△4,900	△42.60 円
増減率	2.1%	△10.5%	△15.8%	△19.6%	△26.3%	△26.4%
（参考）前期通期実績（2026 年 3 月期）	201,676	24,778	15,894	14,273	10,438	90.39 円

※ 米国事業を非継続事業に分類しており、非継続事業からの損益は継続事業と区分して、売上収益、（参考）コア営業利益、営業利益、税引前利益は継続事業の金額を表示し、親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示しております。

※ 上記業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

3. 修正の理由

売上収益につきましては、一部で限定出荷解除後の需要軟調などがみられるものの新製品の順調な立ち上がりもあり、全体として前回公表予想の水準を上回る見通しであります。

一方、利益面におきましては、製品ポートフォリオ見直しや限定出荷解除後の需要軟調に伴う既存品の売上収益の減少や、棚卸資産評価損の増加、生産過程における規格外品の廃棄損の増加が生じました。また、生産面では、前年を上回る生産計画の達成に向けて取り組んでいるものの、原材料・資材価格の高騰や生産効率の低下等により原価率が高水準で推移し、これらの結果、営業利益が想定を下回る見通しとなりました。

販管費の効率化や全社的なコスト抑制に努めているものの、当該営業利益の減少影響を完全に吸収するには至らないことから、当中間連結会計期間並びに通期の（参考）コア営業利益及び営業利益以下の各段階利益について、前回公表予想を上記のとおり修正いたします。

以 上